

## 売れるセールスレターの極意 これであなたもプロライター 再配布権付

言葉づかいのポイントであるものを、いくつか紹介していきます。

セールスレターなり、めるまがなり、参考にさせていただければ

幸いです。

**\*「良い文章とは、うまい文章のことではない」**

普通の人ならば、あまり書けないような難しく技巧的な文章、バラを薔薇  
と

書くような文章は、これらは“うまい”けれど、“良い文章”とは言えませ  
ん。

とくに頭のいい方が、好んでこのような書き方をします。しかし、これはネ  
ット

ビジネスには適していないのです。

ネットビジネスにおいて必要な文章は、「中学1年生にも分かる文章」なんですね。

なので、文章を“うまく”書くことができないと、悩まなくともオッケーです。

「中学1年生にも分かる文章」とは具体的に、

- 1、わかりやすい＝かんたんな言葉をつかった、ありきたりな文章
- 2、読みやすい＝どこがうまいのかが分からない、スラスラ読める文章

頭のいい方は、中1にもどった気持ちで書いてくださいね。

### **\*「かんたんな言葉をつかう」**

文章とは、読み手の立場にたって書くものです。

むずかしい言葉をつかわずに、相手に言いたいことを間違いなく伝えなければなりません。

ネットビジネスにおいては、文章が分かりづらいと、まったく売れなくなることが多々あります。

むずかしい言葉をつかわないために、つぎの2つを意識してくださいね。

- ・同じ意味の、別のかんたんな言葉をさがす。
- ・ひらがなにする。

意識して、かんたんな文章にして下さいね。

むずかしい言葉を、かんたんな言葉に変えようとするとき、辞書を使うと便利ですよ。

むずかしい言葉を、辞書で調べてみると、簡単な言葉で説明されています

から、それを参考にするといいでしょう。

具体的なものを挙げてみましょう。

「同じ意味の、別のかんたんな言葉をさがす。」

躊躇＞ためらう                      詳細＞くわしく

簡潔＞かんたん                      難解＞むずかしい

「ひらがなにする。」

挨拶＞あいさつ                  上手い＞うまい

直ぐに＞すぐに                  曖昧＞あいまい

### **\* 頭だけ漢字をつかう**

むずかしい漢字を使わずに、ひらがなを出来るだけ使うためのコツです。

それは、漢字がつづくような場合、頭だけを漢字にする手法です。

思い込み＞思いこみ                  生き方＞生きかた

書き続ける＞書きつづける                  泣き出す＞泣きだす

このような方法がありますが、ただ例外的に、頭だけを漢字にすると  
かえっておかしくなる場合もあります。

そんなときは、いかに読みやすいかを考えて、調整してくださいね。

### **\* ひらがなのおくりを多くつかう**

締切り＞締め切り

組合せ＞組み合わせ

御申込み＞お申し込み

切替＞切り替え

### **\* カタカナ語をなるべく使わない**

カタカナ語を使うと、賢そうに見えるので使いたくなりますよね。

けれども、「中学1年生にも分かる文章」ではありません。

自分が伝えたいことが、相手に伝わらなくなる可能性がありますから。

「彼はクールだ」 >> 「彼はカッコいい」

「彼女はスマートな人だ」 >> 「彼女は頭が良い人だ」

「職人のスキルは素晴らしい」 >> 「職人の技は素晴らしい」

### **\* 短い一文にする**

「これにしたがって行動していただけたら、初心者でも成功でき

ますし、迷うことは、仕方のないことですが、その一步の迷いが、成功するか、しないかの大きな境であることを申し上げておかなければなりませんので、勇気をもって決断してください。」

口で言うには、何でもないので。けれど、読むとなると息がつまり

そうですね。

カタコトな英会話のように、短い文をつなげて書くと、グッと読みやすくなります。

「これにしたがって行動して下さい。そうすれば、初心者でも成功できます。迷うことは、仕方のないことです。けれども、その一步の迷いが、成功するか、しないかの大きな境であることを申し上げて

おかなければなりません。勇気をもって決断してください。」

＊「が」でつながない

文のつながりの「が」は、とにかく使うのをやめましょう。

これを使うと、文が長くなってしまふんです。それに、読んだあとの後味が悪くなってしまいます。

「裏の説明の通りに使用しますが、使い終わったら常温で保存してください」

次のようにするとスッキリします。

「裏の説明の通りに使用します。使い終わったら常温で保存してください」

こうすると、テンポよく読めるようになります。

スラスラとテンポよく読めることが、大切なんです。

次もテンポよく読める手法です。

＊ 単語のあとの「や」「と」のかわりに、「、」を使う

「お金や、男女関係や、コンプレックスなどのネタ。」

「パソコンと、ネットと、やる気があれば十分です。」

これらを「、」を使う手法になおすと、テンポが良くなります。

「お金、男女関係、コンプレックスなどのネタ。」

「パソコン、ネット、やる気があれば十分です。」

また「、」の有効な使いかたとして、次のような方法もあります。

#### **\* ひらがなの単語をわけ**

「天気はどうであれいまから始めます。」

「今やるといいながらまだ始めません。」

見た瞬間には、パツと頭に内容が入ってきませんよね。

「天気はどうであれ、いまから始めます。」

「今やるといいながら、まだ始めません。」

学校の試験ではありません。読みづらいつと感ずるところが、「、」を  
入れる場所なんですね。



＊「て」と「から」は、なるべく「、」にする

「成功して自由を手に入れる。」

「買い物に行ってから帰宅した。」

これらも次のように変えると、テンポが良くなります。

「成功し、自由を手に入れる。」

「買い物に行って、帰宅した。」

＊「なぜ？」と思わせない

「今夜は楽しいひと時でした。」

「子供たちが笑っています。」

日常会話でふつうに使う表現ですから、どこが悪いか分からない方もいると思います。

もし、これがラジオの中継だったら、どうでしょうか？

なぜ楽しかったのか、分かりません

なぜ笑っているのか、分かりません

文章もラジオと同じです。

読む人に「なぜ？」と思わせないように書きましょう。

上記を直すと、こうなります。

「今夜は恋人とデートができ、楽しいひと時でした。」

「チンパンジーを見て、子供たちが笑っています。」

### **\* わかり易くする数字の表現方法**

あなたが何かの大きさを表すとき、工夫して表現しなければ、読む人はかえって混乱してしまいます。

「重さ180kgです。」

「90×50cmのスペースが必要です。」

直すと、こうなります。

「重さは大人約3人分に相当する180kgです。」

「90×50cm、新聞紙を広げたくらいのスペースが必要です。」

イメージし易いですね。

### **\* 比較できるようにする**

「今回は、一律1万5千円の特別価格です。」

なんだか良さそうな感じもします。けれども、どれくらい特別な価格なのかが分かりません。

「通常3万円のところ、今回は、一律1万5千円の特別価格です。」

こちらの方がわかり易いです。それにお得感がありますね。

### **\* 「つまり」は、ここ一番のときだけ使う**

日常でも、つまりは良く使うことばです。

しかし、雑誌、テレビなどの中で、「つまり」を連発している場合があります。

これはダメですよ！

「つまり」というのは、もっとも伝えたいことを、まとめて念押しするときに使います。

「つまり」「つまり」…と連発しては、どこが大切な部分なのか、読んでいる人にまったく伝わりません。

「つまり」を使うなら、説明の最後に1回だけにしましょう。

### **\* いきなり固有名詞を書かない**

人の名前、地名、モノの名前などは、自分だけしか分からない場合も意外と多いものです。

「相馬海岸はキレイだった。」

「バルセロナが来日」

自分ではなく、読み手の立場で書くことが大切です。

「福島県の太平洋側にある相馬海岸はキレイだった。」

「スペインサッカーリーグで首位のバルセロナが来日」

わからない人もいると意識して、書きましょう。

**\* ( )をつかわない**

これも日常でよくみかけます。

そのため気をつけないと、かなり多用してしまいがちです。

「あなたが現状を変え、自信を持ち、自分らしく幸せになりたいと、

強く思うのであれば、勇気をもって行動してみてください。（その

一歩の行動がなければ、なにも変わりません）

そのときは、私も全力であなたに向き合い、サポートしていきます！

そして、必ず、今日の日時を覚えておいてくださいね。（人生の

大きなターニングポイントになります)」

自然に見えるかもしれませんが、この文では( )をつける意味がまったくないんですね。

( )を使ったほうがカッコいいと、勝手に思いこんでいるとしか思えません。

( )を外したほうが、はるかに読みやすく、きれいです。

「あなたが現状を変え、自信を持ち、自分らしく幸せになりたいと、

強く思うのであれば、勇気をもって行動してみてください。

その一歩の行動がなければ、なにも変えることができないのです。

そのときは、私も全力であなたに向き合い、サポートしていきます！

そして、必ず、今日の日時を覚えておいてくださいね。

あなたの人生の大きなターニングポイントとなるはずです。」

**\* 同じ言葉を連続して使わない**

ここは意識しないと、なかなか気づかないポイントです。

ちょっと見てみましょう。

「商品を注文したのに返事がなくて、返事を催促したのに応答がありません。」

「私の従兄弟の子供のズボンのポケットのアメ」

「それは無理だと思います。だれでも無理だとおもいます。」

書いている側は何も感じないのですが、読み手は、無意識に違和感を覚えてしまうものです。

特に「の」は、続けがちですから、使っても連続して2つくらいにしましょう。

「注文したのに返事がなくて、返事を催促してもものの応答がありません。」

「私の従兄弟の子供はズボンをはいています。ズボンの中にはアメがあります。」

「それは無理だと思います。だれでも無理でしょう。」

また、語尾も連続して使いがちになります。

「思います」なんかが、特にそうですよね。

同義語がいろいろありますので、使い分けましょう。

- ・思います
- ・思っています
- ・思われます
- ・考えます
- ・考えています



- ・考えられます
- ・～でしょう
- ・～ではないでしょうか

具体的に見てみましょう。

「犬だと思います。つぎは猫だと思います。その後は小鳥だと思います。」

「思います」を多用しすぎですね。最低2～3行の間に同じ表現を使わない

ように心がけましょう。

「犬だと思います。つぎは猫でしょう。その後は小鳥だと考えます。」

### **\* 敬語を使いすぎない**

覚えておいてもらいたいのは、実際に相手と会って使う敬語と、  
ネット上での敬語は違うものだということです。

しっかりとした敬語をネット上で文字にすると、読みづらく、かえって伝わり  
にくいものです。

あまり堅苦しい表現にならないように、注意してくださいね。

敬語を使うときのポイントが2つありますので、参考にして下さい。

#### ①2段階目で十分！

- ・見ました < 拝見しました < 拝見させていただきました
- ・する < いたします < させていただきます

敬語の3段階のうち、真ん中を使うと丁度よいでしょう。

#### ②ひとつの表現に、1語だけ敬語を使う！

「ご在宅でいらっしゃいますか？」

「ご返品はご遠慮いただきます。」

これら敬語が複数まじった表現を、敬語を1語だけ使った文に直します。

「ご在宅ですか？」

「返品はご遠慮ください。」

このようにスッキリさせると、読みやすいですね。

以上、セールスレターを書くときの覚えておきたい言葉のポイントを、  
いくつかご紹介しました。

いかがでしたでしょうか？

ぜひ参考にしていただければ幸いです。

続けていけば必ず結果の出るビジネスです。

あなたの成功をお祈りしております。

一日1万ブログアフィリエイトで稼ぐ成功術

<http://blog.kurokato.com/>

発行者 まっさー